



豊里

感謝の言葉と手紙を贈る 3月23日

豊里小・中学校では、読み聞かせの活動をしている学校支援ボランティアに感謝の意を表し、感謝の会を開催しました。
読み聞かせは、学校と地域をつなぐ「学校・地域教育力向上対策事業」の一環として実施。平成26年度は4人のメンバーで週3回程度、1～3年生を対象に活動しました。感謝の会では、代表の1年生4人から感謝の言葉と手紙が贈られました。

スポーツ通じ、親睦図る 2月19日

中津山コミュニティ運営協議会では、中津山地区コミュニティニュースポーツ大会を中津山公民館で開催。地域住民約50人が参加しました。
大会は、近年多くの人に親しまれているニュースポーツを通じて、コミュニティづくりの推進を図ろうと実施。当日は、チームに分かれ、ユニカール、ターゲットバードゴルフなどで競い合いました。参加者たちは、スポーツを楽しみながら、親睦を深めていました。



米山



迫

お昼時間にリフレッシュ 3月26日

H@! FM (ハット・エフエム) の子育て応援番組「キューっとハグしよ!」による昼休みホールコンサートが市役所迫庁舎で開催されました。
コンサートでは、「おどるボンボコリン」や「ジブリメドレー」などを歌唱。最後は、清水バンドの清水明さんが歌う「油麩どんぶり 麩!」に合わせて、さくら幼稚園の園児たちが元気いっぱい踊り、観客から大きな拍手が送られました。



石越

みんなで堤防をきれいに 3月8日

石越町河川愛護会では、春の訪れを告げる恒例の「夏川・迫川の堤防一斉清掃」を実施。住民約1600人が参加しました。
堤防清掃は、毎年全戸参加による奉仕作業です。当日は、午前9時に作業を開始し、約3時間ほどで堤防がすっかりきれいになりました。参加者は「作業は大変ですが、町内全戸で清掃活動に取り組むことは、とても有意義なことです」と、話していました。

会員らが技術向上を図る 3月3日

とよま登米町農産加工クラブ連絡協議会では、「作品展示会」をとよま農産加工調理場で開催。会員60人が参加しました。
展示会は、会員が互いの作品に触れ、学ぶことで、地元産のものを利用した新商品を開発することが目的です。当日は手芸品・菓子・漬物などを展示。参加者は、工夫が凝らされた作品を見ては、作り方を学んでいました。



登米

指導技術の向上目指して 2月21日

登米市体育協会南方支部では、スポーツ指導者養成講習会を南方公民館ホールで開催しました。
講習会の講師は、仙台大学の永田秀隆教授。「高齢者も巻き込んだスポーツを通じた地域づくり」をテーマに講演をしました。永田教授は「これからの時代は市民が主体となり、スポーツを通じてさまざまな年齢層と関わりを持ち、地域再生に貢献していかなければならない」と話しました。



南方



東和

早期発見、被害を小さく 4月9日

3月20日から5月10日まで、東和町にある蚕飼山の山頂や林道を中心に、山火事監視パトロールが行われています。
春先は、空気が乾燥して火災の発生する恐れが高まります。入山者が多くなる季節でもあり、被害が発生しないよう監視を強化。パトロールをしている皆さんは「春先は風も強く、一気に燃え広がることもあるため、早期に発見できるよう努めたい」と、話していました。



津山

有事に備え、対処法学ぶ 3月4日

津山公民館では、いきいきシニアセミナーを同館で開催しました。
今回は、市消防署津山出張所員を講師に迎え「住民が安心のできる暮らし」をテーマとした講座を実施。119番通報の仕組みや救急車が到着するまでの対処方法などを学びました。受講生から質問が多く挙げられ、「もしものときに備えて知っておきたい」という関心の高さがうかがえる講座となりました。

景色を眺め、楽しく運動 3月18日

なかだスポーツクラブパティオでは、ノルディックウォーキング教室を市諏訪公園で開催しました。
ノルディックウォーキングは、ポールを使うことで全身の筋肉が刺激され、普通のウォーキングよりカロリー消費が約20%も増加すると言われています。肩こりの緩和やシェイプアップなどが期待でき、近年愛好者が増加。参加者は、風景を楽しみながら約3kmの道のりをウォーキングしました。



中田